

エコスラグ利用普及委員会

委員会の事業目的・活動内容

国内の廃棄物溶融施設は2023年度現在で225施設である。溶融固化物(エコスラグ)利用促進のため、製造・流通・利用における仕組みの適正化が必要である。当委員会は、産官学の連携にてエコスラグ利用の実状調査をはじめ、JISなどの標準化、用途開拓や溶融施設調査などを通じ、利用普及を推進することを目的としている。

当委員会では標準化分科会、利用普及分科会を組織し、多くの自治体等の協賛をいただきながら、毎年「エコスラグ有効利用の現状とデータ集」の発行、「自治体連絡会」や「技術説明会」の開催等を通じて、エコスラグの利用普及活動を展開している。

エコスラグ利用普及委員会 委員長 小野 義広
日鉄エンジニアリング(株) 環境・エネルギーセクター 企画部 部長

参画している企業

荏原環境プラント(株)
株クボタ
新日本電工(株)
株タクマ
日鉄エンジニアリング(株)
メルテック(株)

鹿島道路(株)
JFE エンジニアリング(株)
大成ロテック(株)
株タナベ
日本道路(株)
三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)

カナデビア(株)
株神鋼環境ソリューション
大有建設(株)
中部リサイクル(株)
前田道路(株)

協賛いただいている自治体

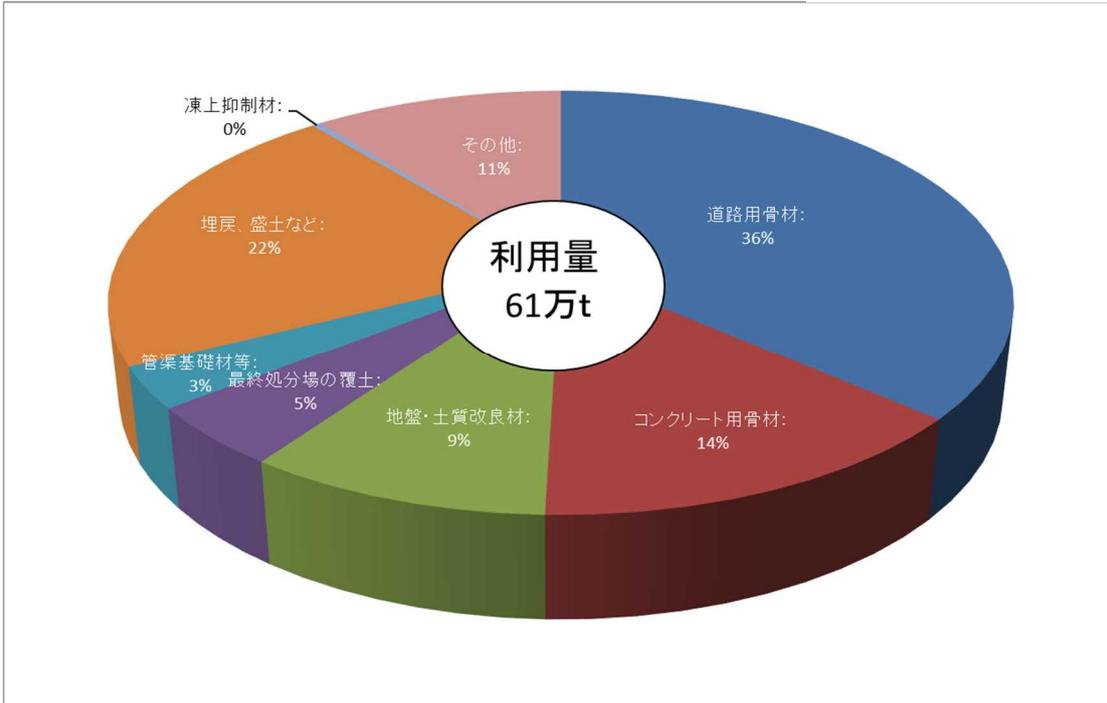
栃木県 廃棄物対策課
群馬県 環境森林部 廃棄物・リサイクル課
東京都 資源循環推進部 計画課
新潟県 県民生活 環境部 廃棄物対策課
愛知県 環境部 資源循環推進課
滋賀県 琵琶湖環境部 循環社会推進課
江別市 市民部 環境クリーンセンター
八戸市 環境保全課
日立市 生活環境部 清掃センター
宇都宮市 環境部 廃棄物施設課
川口市 朝日環境センター
千葉市 環境局 資源循環部 廃棄物施設課
習志野市 習志野市クリーンセンター 施設課
相模原市 南清掃工場 清掃施設課
南魚沼市 環境衛生センター
各務原市 環境部北清掃センター
多治見市 環境経済部 三の倉センター

中津川市 環境センター
静岡市 環境局 ごみ減量推進課
浜松市 環境部 廃棄物処理課
豊橋市 資源化センター
豊田市 清掃施設課 渡刈クリーンセンター
岡崎市 環境部 中央クリーンセンター
京都市 環境政策局 適正処理施設部 施設整備課
吹田市 環境部 資源循環室
岡山市 環境局 環境施設課
倉敷市 環境リサイクル局 リサイクル推進部 環境施設課
呉市 環境施設課
高松市 環境部 南部クリーンセンター
松山市 環境部 清掃施設課 西クリーンセンター
北海道 日高中部衛生施設組合
北海道 根室北部廃棄物処理広域連合
青森県 中部上北広域事業組合
青森県 下北地域広域行政事務組合

山形県 酒田地区広域行政組合
東京都 東京二十三区清掃一部事務組合
富山県 富山地区広域圏事務組合
福井県 大野・勝山地区広域行政事務組合
岐阜県 可茂衛生施設利用組合
岐阜県 西濃環境整備組合
静岡県 掛川市・菊川市衛生施設組合
愛知県 東部知多衛生組合
兵庫県 揖保保健衛生施設事務組合
広島県 安芸地区衛生施設管理組合
徳島県 中央広域環境施設組合
高知県 安芸広域市町村圏事務組合
鹿児島県 大隅肝属広域事務組合
沖縄県 那覇市・南風原町環境施設組合

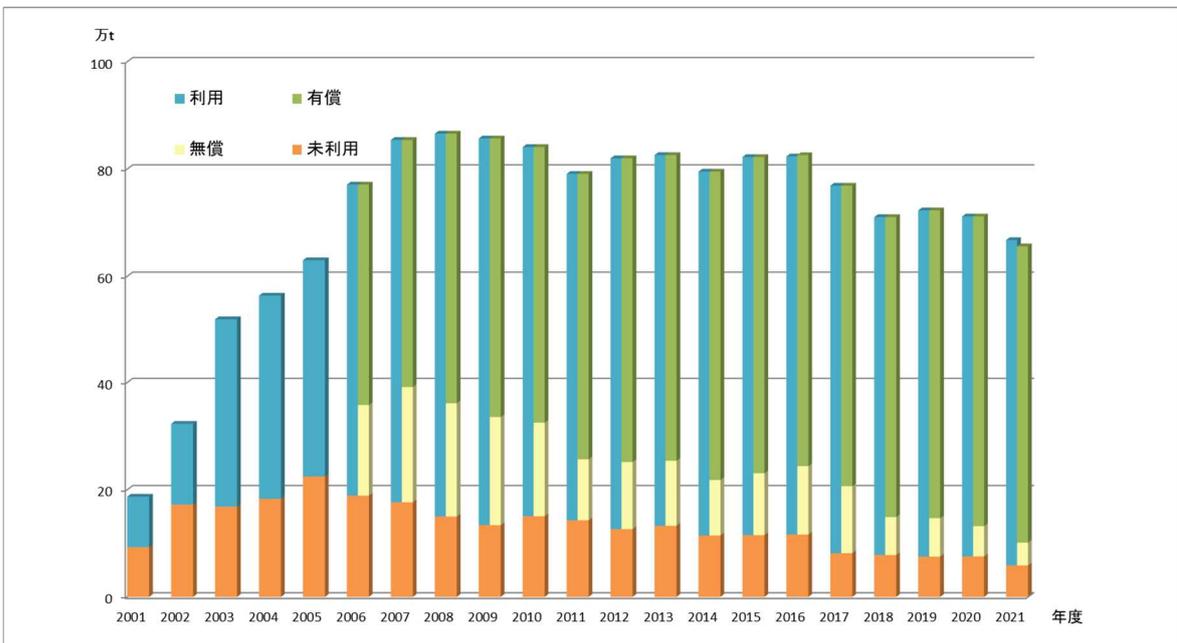
エコスラッグの利用用途

出典：エコスラッグ利用普及委員会



エコスラッグ生産量・利用量の推移

出典：エコスラッグ利用普及委員会



エコスラッグの利用例

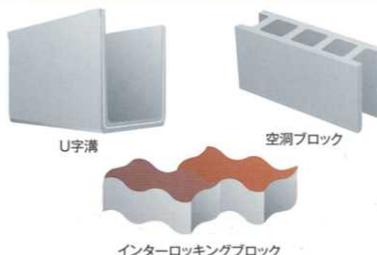
道路用



アスファルト舗装

路盤材

コンクリート二次製品



U字溝

空洞ブロック

インターロッキングブロック

お問い合わせ
 一般社団法人日本産業機械工業会
 エコスラッグ利用普及委員会
 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8
 機械振興会館 4階
 Tel: 03-3434-7579 Fax: 03-3434-4767
 E-mail: ekosura@jsim.or.jp
<https://www.jsim.or.jp/>